



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
コード番号 6668 URL <http://www.adtec-rf.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 修逸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理部長 (氏名) 中山 浩之

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日 平成28年4月25日

TEL 084-945-1359

平成28年4月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	2,635	△9.3	102	△61.7	52	△85.0	36	△82.4
27年8月期第2四半期	2,905	38.8	267	214.2	348	220.9	208	232.8

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 △33百万円 (—%) 27年8月期第2四半期 302百万円 (260.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	4.27	—
27年8月期第2四半期	24.26	—

(注) 当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第2四半期	6,662	2,954	43.5	337.90
27年8月期	6,535	3,005	44.7	340.12

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 2,900百万円 27年8月期 2,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年8月期	—	2.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,353	△9.9	230	△56.3	231	△63.6	149	△66.4	17.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年4月14日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期2Q	8,586,000 株	27年8月期	8,586,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年8月期2Q	2,000 株	27年8月期	2,000 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期2Q	8,584,000 株	27年8月期2Q	8,584,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成28年4月27日に証券アナリスト向け説明会を開催する予定であります。

この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資に回復の兆しがでてきており緩やかな回復基調で推移したものの、年明けからの株安・円高基調の影響により、不透明な状況で推移いたしました。

世界経済におきましては、米国では雇用・個人消費等の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、中国経済の減速に改善の兆しがなく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン等の需要成熟化により設備投資に停滞感があるものの、タッチパネルディスプレイ向けの成膜装置メーカーの設備投資は堅調に推移いたしました。

また、大気圧プラズマによる感染性疾患等向けのプラズマ照射装置の小型化（ステリプラス）が完了し、展示会への出展等を行い、PR活動に注力するとともに、ステリプラスのCE医療機器認定のための準備を進めております。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関における予算削減により新規案件が減少しており、堅調な粒子線がん治療装置用電源の受注獲得に向け営業活動を展開いたしました。収益面におきましては、生産体制を整備し生産能力の増強及び効率化による原価低減に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,635,538千円（前年同期比9.3%減少）、営業利益102,301千円（前年同期比61.7%減少）、経常利益52,306千円（前年同期比85.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益36,631千円（前年同期比82.4%減少）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高は前年同期並の2,212,554千円、営業利益195,098千円（前年同期比24.3%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高422,984千円（前年同期比38.9%減少）、営業損失92,643千円（前年同期は営業利益10,797千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
売上高	2,905,718	2,635,538
売上総利益	987,410	899,948
営業利益	267,223	102,301
経常利益	348,769	52,306
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,224	36,631

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業(当社等)	2,213,158	257,615	2,212,554	195,098
研究機関・大学関連事業(I D X)	692,559	10,797	422,984	△92,643
合計	2,905,718	268,413	2,635,538	102,454

- (注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。
2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失(△)を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd. 及び愛笛科技有限公司を表しております。

(I D X)

株式会社I D Xを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,662,064千円であり、前連結会計年度末と比較して126,768千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(335,790千円)、製品の減少(119,142千円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,707,165千円であり、前連結会計年度末と比較して177,535千円増加しております。

これは、短期借入金の増加(505,000千円)、長期借入金の減少(192,188千円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は2,954,899千円であり、前連結会計年度末と比較して50,766千円減少しております。

これは、利益剰余金の増加(19,463千円)、非支配株主持分の減少(31,709千円)等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して330,990千円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,483,890千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は133,184千円(前年同期は401,362千円の使用)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益52,306千円及び減価償却費75,392千円等の資金増加要因、売上債権の増加額54,910千円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は44,320千円(前年同期は87,159千円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出37,153千円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は296,559千円(前年同期は406,644千円の獲得)となりました。

これは、短期借入金の純増加額505,000千円の資金増加要因、長期借入金の返済による支出190,809千円等の資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、タッチパネルディスプレイ向けの成膜装置メーカーの需要は堅調に推移するものと見込んでおり、海外子会社（ベトナム・韓国）における生産品目の更なる拡大を進め、コスト・納期の改善を進めてまいります。

また、中国市場における顧客サービス強化のため、当社の子会社である愛笛科技有限公司（台湾）の子会社を中国に設立する準備を進めております。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関における予算削減等の影響が継続するものと見込んでおり、強みである技術力を活かせる新規の市場開拓や新規顧客の獲得に重点を置き、営業活動を展開してまいります。収益面については、売上総利益率の改善のため、生産体制見直しによる原価低減に取り組んでまいります。

このような状況の中、平成28年8月期通期の連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日（平成28年4月14日）公表いたしました「第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,100	1,641,890
受取手形及び売掛金	1,131,293	1,168,636
製品	640,311	521,169
仕掛品	494,327	602,614
原材料及び貯蔵品	1,205,543	1,087,980
前払費用	43,223	49,837
繰延税金資産	58,834	65,306
未収入金	142,256	53,232
その他	21,135	11,182
流動資産合計	5,043,026	5,201,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,525,169	1,525,966
減価償却累計額	△775,786	△809,447
建物及び構築物(純額)	749,382	716,518
車両運搬具	36,716	36,726
減価償却累計額	△25,550	△28,024
車両運搬具(純額)	11,165	8,701
工具、器具及び備品	844,479	871,601
減価償却累計額	△621,642	△646,160
工具、器具及び備品(純額)	222,836	225,441
土地	363,670	363,670
有形固定資産合計	1,347,055	1,314,331
無形固定資産		
投資その他の資産	37,900	36,462
投資有価証券	45,598	31,998
繰延税金資産	3,599	4,567
その他	73,375	87,903
貸倒引当金	△15,260	△15,050
投資その他の資産合計	107,313	109,420
固定資産合計	1,492,269	1,460,214
資産合計	6,535,295	6,662,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,665	196,390
短期借入金	1,005,000	1,510,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	394,361	395,740
未払金	127,961	102,139
未払費用	64,041	42,373
リース債務	1,381	1,266
未払法人税等	155,056	81,932
役員賞与引当金	—	5,086
その他	60,884	32,622
流動負債合計	1,996,352	2,387,550
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	1,398,303	1,206,115
リース債務	575	—
繰延税金負債	19,257	8,059
退職給付に係る負債	2,607	3,130
資産除去債務	64,714	65,276
その他	7,819	7,033
固定負債合計	1,533,277	1,319,614
負債合計	3,529,629	3,707,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	1,151,580	1,171,044
自己株式	△384	△384
株主資本合計	2,894,955	2,914,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,879	2,179
為替換算調整勘定	12,759	△16,060
その他の包括利益累計額合計	24,639	△13,881
非支配株主持分	86,071	54,362
純資産合計	3,005,666	2,954,899
負債純資産合計	6,535,295	6,662,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	2,905,718	2,635,538
売上原価	1,918,307	1,735,590
売上総利益	987,410	899,948
販売費及び一般管理費	720,187	797,647
営業利益	267,223	102,301
営業外収益		
受取利息	694	604
受取配当金	190	225
為替差益	63,284	—
受取手数料	23,063	18,652
受取家賃	5,918	7,164
その他	4,495	1,742
営業外収益合計	97,647	28,389
営業外費用		
支払利息	14,130	13,262
為替差損	—	55,062
減価償却費	—	4,084
その他	1,970	5,975
営業外費用合計	16,101	78,384
経常利益	348,769	52,306
特別損失		
固定資産除却損	9,056	—
特別損失合計	9,056	—
税金等調整前四半期純利益	339,713	52,306
法人税、住民税及び事業税	117,525	65,114
法人税等調整額	19,021	△17,732
法人税等合計	136,546	47,381
四半期純利益	203,166	4,924
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,057	△31,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,224	36,631

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	203,166	4,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,941	△9,699
為替換算調整勘定	95,269	△28,820
その他の包括利益合計	99,210	△38,520
四半期包括利益	302,377	△33,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,435	△1,889
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,057	△31,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	339,713	52,306
減価償却費	80,915	75,392
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△210	△210
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,000	5,086
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	930	896
受取利息及び受取配当金	△884	△829
支払利息	14,130	13,262
為替差損益 (△は益)	△52,638	60,458
固定資産除却損	9,056	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△275,774	△54,910
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△517,158	100,145
仕入債務の増減額 (△は減少)	124,892	31,343
その他	7,151	5,252
小計	△264,877	288,192
利息及び配当金の受取額	699	507
利息の支払額	△15,180	△15,252
法人税等の支払額	△122,004	△140,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△401,362	133,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△4,800	△4,800
有形固定資産の取得による支出	△82,385	△37,153
無形固定資産の取得による支出	△1,049	△3,499
その他	1,075	1,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,159	△44,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	505,000
長期借入れによる収入	184,000	—
長期借入金の返済による支出	△268,188	△190,809
リース債務の返済による支出	△690	△690
配当金の支払額	△8,476	△16,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	406,644	296,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	98,519	△54,433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,642	330,990
現金及び現金同等物の期首残高	1,400,616	1,152,900
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,417,259	1,483,890

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,213,158	692,559	2,905,718	—	2,905,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,005	7,943	12,949	△12,949	—
計	2,218,164	700,503	2,918,667	△12,949	2,905,718
セグメント利益	257,615	10,797	268,413	△1,189	267,223

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,189千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,212,554	422,984	2,635,538	—	2,635,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,092	9,154	12,247	△12,247	—
計	2,215,647	432,138	2,647,785	△12,247	2,635,538
セグメント利益又は損失(△)	195,098	△92,643	102,454	△153	102,301

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。